

金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系  
専任教員公募要項（女性限定公募）

1. 職種および募集人員：准教授(女性)または講師（女性） 1名
2. 勤務形態：常勤(任期なし)
3. 所属：
  - (1) 研究(教員)組織：人間社会研究域歴史言語文化学系  
※ 人間社会研究域では「言語文化の越境、接触による変容と普遍性に関する比較研究」という研究課題グループに所属していただくことになります。
  - (2) 教育(学生)組織：人間社会学域人文学類および大学院人間社会環境研究科
4. 専門分野：中国語学における教育・研究
5. 主な担当授業  
学士課程共通教育：初習言語科目(中国語)  
学士課程専門教育：中国語学概説 A/B、中国語学研究、中国語科教育法 A/B、中国語学演習 A/B、その他専門に関する講義・演習  
大学院博士前期課程：中国語学各論 I 1/2、中国語学各論 II 1/2、中国語学演習 I 1/2、中国文化環境学 I、その他専門に関する講義・演習  
※ 上記担当授業を中国語または英語で行っていただく場合があります。
6. 応募資格：以下の条件をすべて満たすことが必要です。
  - (1) 中国語学(あるいは言語学)を主専攻とし、博士の学位を有する女性研究者（2018年3月までに取得見込みの者を含む）  
※ 本公募では、「男女雇用機会均等法」第8条(女性労働者に係る措置に関する特例)の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。
  - (2) 日本語を母語とする者、または、それと同等の日本語運用能力を有する者
  - (3) 中国語で授業が行える者
  - (4) 大学における教育経験を有する者
  - (5) 金沢市またはその近郊に居住できる者
  - (6) 授業の他、学生指導、研究室活動および共同研究等に積極的に関わる意志を持つ者
7. 採用予定日：2018年4月1日、あるいはそれ以降（2019年4月1日まで）のできるだけ早い時期
8. 提出書類
  - (1) 履歴書（書式は任意）
    - ・ 写真を貼付し、高等学校卒業以降の学歴・職歴を記すこと。
    - ・ E-mail アドレスも記入すること
  - (2) 修了証明書（最終学歴のもの）または学位記の写し（または学位授与見込証明書）
  - (3) 研究業績一覧
    - ・ 論文については査読の有無を記すこと
    - ・ これまでに受けた科学研究費や財団等からの研究助成金の一覧及び社会的活動の一覧も添えること
  - (4) 業績（著書、論文等）のうち主要なもの3点（別刷りまたはコピー可）

- ・それぞれに400字程度（中国語の場合は300語程度）の要旨を付すこと
- (5) 研究内容等の照会が可能な方2名の所属、氏名、連絡先、応募者との関係を記した書面
- (6) 金沢大学における教育・研究活動についての所信（日本語または中国語で A4判用紙2枚程度）

#### 9. 選考方法

一次選考：書類選考

二次選考：一次選考の後、面接および中国語による模擬授業の実施をお願いする予定です。

※その際に要する旅費等は応募者の負担となりますので、あらかじめ御了承願います。

10. 応募締切日：2017年8月31日（木）必着

11. 応募書類提出先：〒920-1192 石川県金沢市角間町  
金沢大学 人間社会研究域 歴史言語文化学系長 新田哲夫宛

※「中国語学分野担当教員応募書類在中」と朱書きし、書留で郵送してください。

※ 応募書類は原則として返却いたしません。特に返却を希望される場合は、必要額の切手を貼付した返信用封筒（宅配便の場合は着払いの送り状）を同封願います。

12. 問い合わせ先： 金沢大学 人間社会研究域 歴史言語文化学系 教授 上田望  
E-mail: [nueda@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:nueda@staff.kanazawa-u.ac.jp)

#### 13. その他:

(1) 給与については、国立大学法人金沢大学職員給与規程を適用します。国立大学法人金沢大学職員給与規程、就業規則等の詳細は、下記のURLをご参照ください。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2) 金沢大学では、女性研究者支援を含む男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記のURLをご覧ください。

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

(3) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでいます。

(4) 人間社会研究域では、女性研究者支援制度を構築し、女性研究者からの種々の相談に応じる体制を整備しています。